



## 輸液について ~その2~

当院で採用している主に栄養を補う輸液について作成しました。消化管が安全に使える場合は経腸栄養を、使えない場合は静脈栄養を選択されることが多いです。静脈栄養が**長期間となる場合は中心静脈栄養法 (TPN)**、**短期間の場合は末梢静脈栄養法 (PPN)**が推奨されています。TPN では太い血管を用いる為、多くのエネルギーを投与することが出来ます。PPN は血管が細い為、高浸透圧の輸液を投与することが難しく短期間使用に適しています。

PPN や TPN で使われる輸液は脂肪が含まれていないものが多く、**脂肪乳剤を使うことで効率よくエネルギーを増やす**ことが出来ます。



エルネオパやワンパルは油ものがない定食のイメージ、**ハイカリックや糖液は白ご飯単品のイメージ**だね

## TPNで使われる輸液

ハイカリックRF	大塚糖液50%	エルネオパNF1号	エルネオパNF2号	ワンパル1号	ワンパル2号
<ul style="list-style-type: none"> <li>成分はほぼブドウ糖</li> <li>病態に応じて成分を調整したいときによい</li> <li>微量元素製剤やビタミン剤、アミノ酸製剤等と混ぜて使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成分はブドウ糖のみ</li> <li>病態に応じて成分を調整したいときによい</li> <li>微量元素製剤やビタミン剤、アミノ酸製剤等と混ぜて使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アミノ酸、ビタミン、微量元素、電解質含有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エルネオパNF1号と電解質濃度等はあまり変わらず、<b>カロリーが約1.5倍</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エルネオパより<b>水分が少ない</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンパル1号と電解質濃度等はあまり変わらず、<b>カロリーが約1.5倍</b></li> </ul>
・1000kcal/袋	・400kcal/袋	・560kcal/1000ml 袋	・820kcal/1000ml 袋	・560kcal/800ml 1袋	・840kcal/800ml 1袋

## 脂肪乳剤

イントラリボズ



- 粒子が大きく詰まるので、**フィルターに通さない**
- 投与した脂肪が有効利用される為には代謝を受ける必要があるため、**投与速度に注意する**
- 脂肪粒子の粗大化や凝集予防の為**他剤と混合しない**

・200kcal/袋

## PPNで使われる輸液

ビーフリード輸液	トリフリード輸液	大塚糖液10%
<ul style="list-style-type: none"> <li>浸透圧比≒3の為末梢からの投与可</li> <li><b>アミノ酸、VB1含有</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浸透圧比≒2.6</li> <li>糖を多く含む3号液</li> <li>アミノ酸は含まない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浸透圧比≒2</li> <li><b>成分はブドウ糖のみ</b></li> </ul>
・210kcal/袋	・210kcal/袋	・200kcal/袋

## アミノ酸製剤

テルフィス	キドミン
<ul style="list-style-type: none"> <li>肝性脳症用</li> <li>肝性脳症改善の為Fischer比を高めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>腎不全用</li> </ul>
・63.9kcal/袋	・57.6kcal/袋

投与ルートによって使える輸液が異なるので注意しましょう。

詳しい組成は院内薬品集をご確認下さい。

参考文献:やさしく学ぶ輸液・栄養の第一歩(第5版)他

